

平成28年度

まちの台所事情



町民のみなさんから納めていただいた税金などが、どのように使われ町の財政が運営されているか、平成28年度の決算の概要をお知らせします。

◆ 町民一人あたりに使ったお金
207万9千円 (前年:190万6千円)

◆ 町民一人あたりの町税負担額
15万4千円 (前年:14万3千円)

※計算基礎人口 4,944人
(平成29年3月末現在)

支出は、
前年度から9.8%増加

平成28年度の決算は、6会計全体の収入で109億7215万円、支出では102億8070万円となりました。前年度と比べて、収入は11億7508万円(12.0%)の増、支出は9億1998万円(9.8%)の増となりました。翌年度に繰り越して使う財源を除いた実質収支は、4億9220万円の黒字となり、このうち一般会計は4億5488万円の黒字決算となりました。

一般会計(収入)

町税・道支出金・寄付金・繰入金は増加、使用料及び手数料は減少

町税は7億6123万円で、6096万円(8.7%)増加となりました。道支出金は農業関連事業により4億6282万円で、1億7874万円(62.9%)増加、寄付金はふるさと納税制度による寄付が増えたことにより21億2883万円で、5億6673万円(36.3%)増加となりました。繰入金は、公共施設の整備のため、公施設整備基金を取り崩したこと、ふるさと納税の寄付金を子育てや少子化対策の事業へ活用するため、ふるさと納税・子育て少子化対策基金を取り崩したことにより7億5784万円で、6億5329万円(624.9%)増

加となりました。

使用料及び手数料は1億115万円で、ナイタイ高原牧場の指定管理方法の変更により、4億5272万円(81.7%)減少しました。

一般会計(支出)

※特徴的なもの

総務費では、まちなか住宅建設に向けた旧病院施設の解体工事、移住・二地域居住の促進のため体験住宅の整備・業務委託を実施するとともに、継続してふるさと納税による寄付者への感謝特典として本町特産品の発送を行いました。民生費では、年金生活者等支援臨時福祉給付金やサポートセンター・白樺施設改修工事を実施しました。衛生費では、地域医療の確保のため医療機関支援を行いました。農林水産業費では、農協TMRセンター・バンカーサイロ増設工事費への補助や農道整備事業を実施しました。

土工費では、ぬかびら源泉郷中央園地整備工事や商店街等の振興対策としてプレミアム商品券の発行を行いました。土木費では、定住促進対策として、引き続き民間活力による賃貸住宅の建設に助成する定住促進賃貸住宅建設費助成事業を実施するとともに、子育てを行うための住宅を新築・購入する方への子育て住宅建設費等助成事業を実施しました。

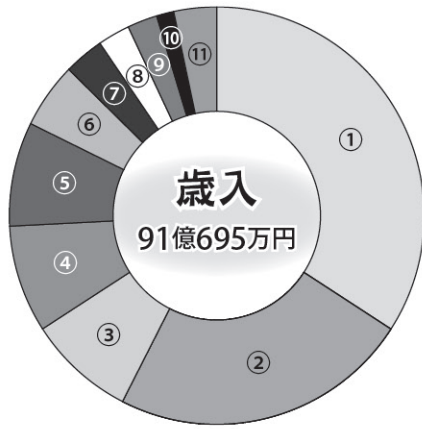
特別会計

教育費では、生涯学習センター改築工事や認定こども園「ほろんの森」整備工事、小中学校パソコン整備事業を実施するとともに、継続して魅力ある学校づくりに取り組む土幌高等学校校振興会に補助を実施しました。特別会計は、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・水道・下水道の5事業で、決算状況は決算総括表(表1)のとおりとなっています。

♣ 表1 平成28年度決算総括表 ▲=マイナス

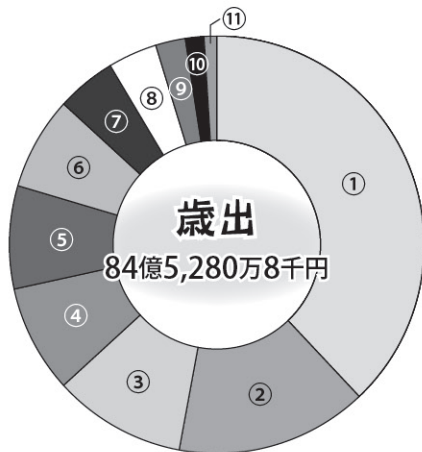
会計	区分	平成28年度	平成27年度	増減率
一般会計	歳入	91億 695万0千円	79億4,763万7千円	14.6%
	歳出	84億5,280万8千円	75億3,989万2千円	12.1%
国保会計	歳入	7億8,745万3千円	8億5,529万4千円	▲7.9%
	歳出	7億7,934万0千円	8億4,748万6千円	▲8.0%
後期高齢者医療会計	歳入	8,563万7千円	8,522万4千円	0.5%
	歳出	8,394万1千円	8,277万3千円	1.4%
介護保険会計	歳入	5億2,726万9千円	4億9,899万6千円	5.7%
	歳出	5億 79万0千円	4億8,159万4千円	4.0%
水道会計	歳入	2億4,710万4千円	1億8,289万3千円	35.1%
	歳出	2億4,651万3千円	1億8,235万0千円	35.2%
下水道会計	歳入	2億1,773万9千円	2億2,702万6千円	▲4.1%
	歳出	2億1,730万4千円	2億2,661万7千円	▲4.1%
総計	歳入	109億7,215万2千円	97億9,707万0千円	12.0%
	歳出	102億8,069万6千円	93億6,071万2千円	9.8%

◆ 図2 一般会計収支の内訳



【歳入】

科目	決算額	構成比
① 地方交付税	31億 908万6千円	34.1%
② 寄付金	21億2,883万3千円	23.4%
③ 町税	7億6,122万9千円	8.4%
④ 繰入金	7億5,783万5千円	8.3%
⑤ 町債	7億3,526万5千円	8.1%
⑥ 道支出金	4億6,282万4千円	5.1%
⑦ 国庫支出金	2億8,436万7千円	3.1%
⑧ 諸収入	2億2,827万0千円	2.5%
⑨ 繰越金	2億1,274万5千円	2.3%
⑩ 地方譲与税	1億2,316万0千円	1.4%
⑪ その他	3億 333万6千円	3.3%
歳入合計	91億 695万0千円	100%



【歳出】

科目	決算額	構成比
① 総務費	32億 865万6千円	38.1%
② 教育費	12億6,362万2千円	14.9%
③ 農林水産業費	8億7,266万8千円	10.3%
④ 公債費	7億 641万0千円	8.4%
⑤ 民生費	6億7,422万3千円	8.0%
⑥ 土木費	6億 968万7千円	7.2%
⑦ 衛生費	3億9,174万8千円	4.6%
⑧ 商工費	3億2,378万4千円	3.8%
⑨ 消防費	1億9,652万6千円	2.3%
⑩ 災害復旧費	1億2,238万1千円	1.4%
⑪ その他	8,310万3千円	1.0%
歳出合計	84億5,280万8千円	100%

借入金総額は約87億円
借入金残高はわずかに減少

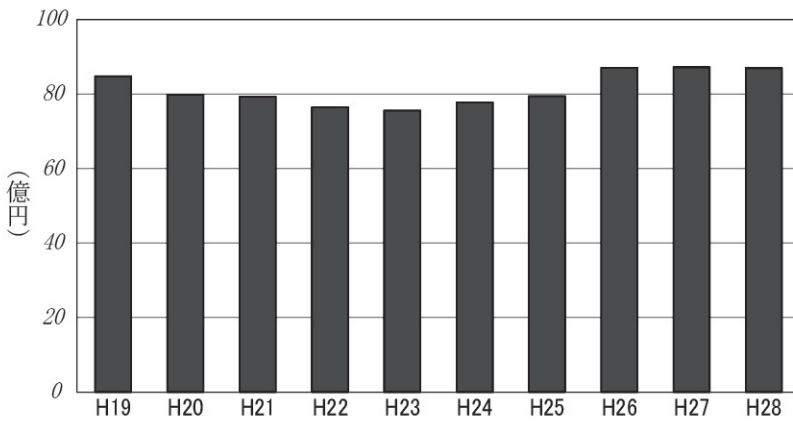
町が公共施設の建設や介護・医療施設建設に対する助成、道路・下水道などの整備のため、国などから借りている借入金の平成28年度末現在高は、86億9153万円で、過年度に借りた分の償還終了に伴い、前年比2507万円

貯金総額は約77億円

将来の町づくりのために積み立てている積立金の残高は、17基金合計で76億5284万円となっています(表4)。

の減となり(図3)、借金残高総額がわずかに減少しました。

◆ 図3 町債(借入金)現在高の推移



このうち、社会福祉など特定の目的のための基金を除く、災害復旧や公共施設整備のための基金(財政調整基金・公共施設整備基金)は、44億9384万円の前年比9825万円増加しました。また、ふるさと納税の寄付金のうち、子育て支援や少子化対策に充てるための基金(ふるさと納税・子育て少子化対策基金)は、7億9394万円で前年比5058万円増加しました。

◆ 表4 基金(積立金)現在高の状況

基金の名称	平成28年度末現在高	基金設置の目的
財政調整基金	26億3,109万8千円	災害や一時的な財源不足等の場合のための財源
公共施設整備基金	18億6,273万7千円	将来の公共施設の整備・解体撤去費用のための財源
減債基金	11億4,185万7千円	町の借入金の返済財源
ふるさと納税・子育て少子化対策基金	7億9,394万1千円	ふるさと納税の寄付金を財源とした子育て支援および少子化対策に要する経費
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋保存基金	3億6,686万5千円	旧国鉄土幌線アーチ橋の保存対策および解体撤去の際の財源
土幌線代替輸送確保基金	1億8,490万5千円	旧土幌線の代替バスの赤字補てん・購入補助、交通公園等管理経費等
社会福祉基金	1億5,541万4千円	援護を要する高齢者および重度障がい者等の福祉対策のための財源
土地開発基金	1億 781万3千円	将来の公共施設用地の取得基金
学校教育施設整備基金	1億 449万9千円	学校教育施設の整備費用のための財源
その他(8基金)	3億 370万8千円	
合計	76億5,283万7千円	